

## 編集後記

春である。春であると書かなければならない気がしたので書いてあるものの、正直に言えば私が春に対して抱く感情はこの数年で著しく悪化している。昨年、花粉症としてデビューを果たしたためである。いささか遅すぎるデビューである。記者会見は予定していない。

実際のところを言えば、うすうす気づいてはいた。春になると鼻水がでる。くしゃみが止まらない。目がかゆい。なんなら頭もぼんやりする。だいたい全部である。それでも認めたくなかった。聞くところによると、花粉症とは一度なってしまえば二度とそれまでの非花粉症的であった頃の自分には戻れないらしい。である以上、やはり認めるわけにはいかない。春になるたびに、鼻水もくしゃみも目がかゆいことも頭がぼんやりすることも「ちょっと風邪っぽいかもです」などともごまごま言い訳をしていた。ついでに、「昨夜ちょっと冷えてしまったからですかね」などと余計な一言も付け加えていた。人は何かを誤魔化したくなると饒舌になるらしい。しかし、花粉の飛散量と種々の不調に明

らかな相関があることに気づいたとき、私は敗北を受け入れることにした。好きな言葉は鼻うがいです。

いまは4月半ば、桜も概ね散ったようである。春とは別れと出会いの季節であるなどと言われている。私はかつての非花粉症的人生を謳歌していた自分と別れ（もちろん正確には先方から別離を告げられたわけだが）、代わりにティッシュ箱を抱えて眠る習慣を身につけた。春をこんなふうを意識して過ごすことになるとは、少し前まで想像もしていなかった。どう受け止めるのが正解なのかは、いまだによくわからない。とはいえ、この編集後記も終わりに近づいてきた。本号が読者諸賢の手元に届くまでには花粉のピークはすっかり過ぎ去り、この愚痴も季節外れに聞こえるかもしれない。そう考えると阿呆みたいな独り相撲をしているようで、なんだか急に恥ずかしくなってきた。少しだけ反省している。反省はしているが、具体的な対策に話を進めるほどの気力は、今のところない。そもそも春のほうで何とかしてほしい。（松岡清吉）

### プラズマ・核融合学会 役員

会 長：花田磨砂也  
副 会 長：大野哲靖 坂本瑞樹(推薦委員長：学会賞・男女共同参画委員長)  
常務理事：榊原 悟(総務委員長)  
理 事：渥美寿雄 居田克巳 稲垣 滋(企画委員長) 井 通暁(年会運営委員長・研究部会連絡委員長)  
大原 渡 兒玉了祐(広報委員長) 古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)  
坂本克也 仙波智行(財務委員長) 高木浩一 高橋幸司(企業展示検討委員長)  
田中康規 鳥養祐二 村上 泉(編集委員長) 山田弘司(推薦委員長：研究助成)  
吉田麻衣子  
監 事：前田達志 波多野雄治

### プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 田中康規(金沢大) 核融合プラズマ 居田克巳(核融合研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：村上 泉(核融合研) 副委員長：鳥養祐二(茨城大)  
エディタ：三瓶明希夫(京都工繊大)、重森啓介(阪大)、高橋裕己(核融合研)、石澤明宏(京大)、大矢恭久(静岡大)  
編集委員：伊藤 悟(東北大)、犬伏雄一(JASRI)、太田雅人(核融合研)、小田靖久(摂南大)、梶田 信(東大)、  
葛山 浩(鳥取大)、河内裕一(名大)、熊谷公紀(QST)、篠原正典(福岡大)、白戸高志(名大)、鈴木陽香(名大)、  
瀬戸春樹(QST)、曾根宏隆(豊田自動織機)、高橋一匡(長岡技科大)、武村勇輝(核融合研)、中村友祐(名大)、  
成田絵美(京大)、難波慎一(広島大)、沼波政倫(核融合研)、信太祐二(北大)、浜地志憲(核融合研)、  
廣田 真(東北大)、松岡清吉(QST)、文 贊鎬(九大)、本島 巖(核融合研)、柳生義人(九大)、山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第102巻第5号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 5階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2026年(令和8年)5月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。